



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
コード番号 5724 URL <https://www.asaka.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山田 浩太
問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員 管理本部長 （氏名）巨海 隆 TEL 024-944-4744
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	8,747	37.4	1,179	263.4	1,083	270.6	811	286.6
2025年9月期第3四半期	6,367	6.9	324	26.4	292	22.0	210	△38.6

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 1,007百万円（407.0％） 2025年9月期第3四半期 198百万円（△51.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	161.34	161.02
2025年9月期第3四半期	41.82	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年9月期第3四半期	17,668	5,874	33.1	1,159.67
2025年9月期	13,806	4,925	35.4	972.02

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 5,841百万円 2025年9月期 4,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年9月期	—	4.00	—		
2026年9月期（予想）				8.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,750	23.8	1,240	151.5	1,040	142.6	785	161.5	155.99

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	5,144,600株	2025年9月期	5,144,600株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	107,359株	2025年9月期	117,773株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	5,032,211株	2025年9月期3Q	5,022,073株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの主要製品である貴金属のうち、当第3四半期連結累計期間における金の価格は地政学リスクの高まりによる安全資産としての需要の高まりや米国金利の引き下げ期待の高まりに伴う需要により、前年同四半期を上回りました。銅の価格は生産国からの供給不安やA I普及に伴うデータセンター建設等の要因で需要が高まり、高い水準で堅調に推移し前年同四半期を上回りました。

このような事業環境の中、既存事業では回収した貴金属をお客様のニーズに沿った材料に加工して返却する等、当社の技術力を活かした多様なビジネススキームの提案により、新規顧客の獲得や既存顧客の維持・拡大に努め、前年同四半期比で貴金属の取扱い数量は増加いたしました。また、製造工程においては、リードタイムの短縮等の生産性向上に注力することで、コスト低減を着実に進めています。

新規事業では、リチウムイオン電池（以下、LiB:Lithium-ion Battery）再生事業の開始に向け、実証試験及び電池メーカーとの事業スキーム構築に注力しています。当社独自のプロセスのさらなる安定化及び生産効率の向上を目的とした実証試験を継続しつつ、量産工場の建築を進めています。事業スキームの構築においては、電池メーカーの工場から排出される工程廃材の一部について当社がリサイクル業務を受託する覚書（MOU）に基づき、関係企業等を交えた交渉を継続しております。

一方で、当第3四半期連結累計期間においては中東情勢の不安定化によりサプライチェーンに混乱が生じており、石油製品や石油から派生する製品の長納期化や価格の高騰が発生しております。現時点で当社業績に対する著しい影響は確認されておりませんが、今後の設備投資等の計画への影響を最小限に抑えるべく、調達先との連携強化や調達先の分散化等の対応を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高8,747百万円（対前年同四半期37.4%増）、営業利益1,179百万円（同263.4%増）、経常利益1,083百万円（同270.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は811百万円（同286.6%増）でした。貴金属の取扱い数量の増加と金及び銅の相場上昇により前年同四半期比で増収増益となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、売上高については、セグメント間取引の消去前の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の消去後の数値であります。また、間接部門の経費負担には、LiB再生事業における研究開発費用を含んでおります。

(貴金属事業)

貴金属の取扱い数量の増加と主要製品である金の価格上昇により、売上高は7,413百万円（対前年同四半期39.9%増）、セグメント利益は955百万円（同439.7%増）の増収増益となりました。

(環境事業)

主要製品である銅の販売数量の増加と価格上昇により、売上高は1,172百万円（同29.9%増）、セグメント利益は109百万円（同63.8%増）の増収増益となりました。

(システム事業)

主力製品である品質管理システムの販売が減少したことにより、売上高は146百万円（同3.6%減）となり、研究開発費や人件費等の増加により全社共通費用の負担が増加したことから、セグメント損失は8百万円（前年同四半期は19百万円の利益）の減収減益となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等は、連結グループ内の取引額の減少により、売上高は255百万円（対前年同四半期0.8%減）、セグメント利益は27百万円（同5.6%減）の減収減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて3,862百万円増加し、17,668百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が323百万円、受取手形及び売掛金が255百万円、棚卸資産が210百万円、建設仮勘定が2,807百万円、投資有価証券が280百万円増加したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて2,913百万円増加し、11,794百万円となりました。

主な要因は、借入金1,948百万円、買掛金105百万円、未払法人税等131百万円、その他流動負債759百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて948百万円増加し、5,874百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金731百万円、その他有価証券評価差額金194百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年5月15日の「2026年9月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,150,929	4,474,925
受取手形及び売掛金	543,632	799,452
電子記録債権	29,710	9,517
商品及び製品	2,376,812	1,721,320
仕掛品	579,729	1,431,969
原材料及び貯蔵品	74,481	88,090
その他	166,925	179,442
流動資産合計	7,922,223	8,704,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,990,671	2,992,342
減価償却累計額	△1,605,475	△1,652,988
建物及び構築物（純額）	1,385,195	1,339,354
機械装置及び運搬具	2,912,944	2,935,175
減価償却累計額	△2,328,501	△2,401,938
機械装置及び運搬具（純額）	584,442	533,237
土地	1,362,987	1,362,806
リース資産	38,118	50,646
減価償却累計額	△30,643	△34,515
リース資産（純額）	7,474	16,130
建設仮勘定	2,111,503	4,919,367
その他	269,185	278,761
減価償却累計額	△217,975	△224,819
その他（純額）	51,210	53,941
有形固定資産合計	5,502,814	8,224,838
無形固定資産	55,707	130,173
投資その他の資産		
投資有価証券	207,304	488,117
繰延税金資産	821	836
退職給付に係る資産	76,332	77,018
その他	51,397	44,532
貸倒引当金	△10,231	△1,277
投資その他の資産合計	325,624	609,227
固定資産合計	5,884,146	8,964,239
資産合計	13,806,370	17,668,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,589	393,016
短期借入金	202,280	187,280
リース債務	4,202	5,818
未払法人税等	64,470	195,531
借入金地金	2,008,434	1,955,139
賞与引当金	172,496	120,907
その他	346,104	1,105,959
流動負債合計	3,085,578	3,963,652
固定負債		
社債	330,000	330,000
長期借入金	4,974,326	6,937,616
リース債務	3,960	11,924
繰延税金負債	148,828	235,934
長期未払金	282,496	259,454
資産除去債務	55,431	55,881
固定負債合計	5,795,044	7,830,810
負債合計	8,880,622	11,794,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	365,741	382,612
利益剰余金	4,016,484	4,747,914
自己株式	△129,248	△117,833
株主資本合計	4,757,273	5,516,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,190	322,513
繰延ヘッジ損益	1,768	2,834
退職給付に係る調整累計額	△1,075	△797
その他の包括利益累計額合計	128,883	324,550
新株予約権	39,590	32,956
純資産合計	4,925,747	5,874,495
負債純資産合計	13,806,370	17,668,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,367,791	8,747,200
売上原価	4,410,596	5,661,204
売上総利益	1,957,194	3,085,995
販売費及び一般管理費	1,632,466	1,906,058
営業利益	324,727	1,179,937
営業外収益		
受取利息	10,614	23,318
受取配当金	251	444
受取賃貸料	1,233	28,910
貸倒引当金戻入額	208	5,880
物品売却益	20,344	2,221
為替差益	1,186	—
保険解約返戻金	67,240	—
その他	4,300	4,179
営業外収益合計	105,378	64,953
営業外費用		
支払利息	41,898	112,046
地金借入料	28,918	40,965
支払手数料	64,794	3,618
為替差損	—	502
その他	2,073	4,043
営業外費用合計	137,684	161,177
経常利益	292,421	1,083,713
特別利益		
固定資産売却益	846	185
新株予約権戻入益	214	—
特別利益合計	1,060	185
特別損失		
固定資産除却損	579	30,335
固定資産売却損	—	130
減損損失	28,469	6,610
特別損失合計	29,049	37,076
税金等調整前四半期純利益	264,432	1,046,822
法人税等	54,404	234,931
四半期純利益	210,028	811,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,028	811,890

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	210,028	811,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,201	194,322
繰延ヘッジ損益	1,113	1,065
退職給付に係る調整額	△195	278
その他の包括利益合計	△11,283	195,666
四半期包括利益	198,744	1,007,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,744	1,007,557

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,299,280	902,517	151,727	6,353,526	14,265	6,367,791
外部顧客への売上高	5,299,280	902,517	151,727	6,353,526	14,265	6,367,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	390	—	390	243,204	243,595
計	5,299,280	902,907	151,727	6,353,916	257,469	6,611,386
セグメント利益	176,999	66,545	19,366	262,911	29,510	292,421

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貴金属」セグメントにおいて1,820千円、「その他」の区分において649千円、報告セグメントに帰属しない全社資産において26,000千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,413,765	1,171,871	146,229	8,731,866	15,333	8,747,200
外部顧客への売上高	7,413,765	1,171,871	146,229	8,731,866	15,333	8,747,200
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	847	—	847	240,140	240,988
計	7,413,765	1,172,718	146,229	8,732,714	255,474	8,988,188
セグメント利益	955,202	109,001	△8,349	1,055,854	27,859	1,083,713

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月24日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式4,020株の処分を行っております。また、新株予約権の権利行使に伴い自己株式6,400株の処分を行っております。この結果、単元未満株式の買取により取得した株式数を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が11,415千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が117,833千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	245,922千円	263,486千円